

学校だより

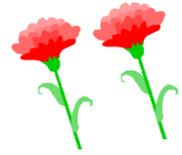
令和7年5月30日（金）

大田区立羽田小学校

校長 渡部 理恵子

学校だより 第3号

ホームページ [http:// haneda-es.ota-school.ed.jp/](http://haneda-es.ota-school.ed.jp/)



ICT の利活用と対話、NIE（新聞活用）の取組 ～デジタルとアナログ・体験、どちらも大切に～

校長 渡部 理恵子

羽田小学校では、令和6年度から大田区の教育研究推進校「ICT教育推進」の指定を受け、研究を進めています。ICT教育とは、コンピュータやタブレット端末などのデジタル機器、インターネットサービスなどの情報通信技術（ICT）を活用した教育活動です。デジタル機器やこども一人一台のタブレット端末（クロームブック）をどう使うことが学習活動の充実につながっていくのか、まずは発達段階を考えながらさまざまな場面で使うことから始めました。教員が大型モニターに画像や動画などを提示し、拡大したり、画面に書き込んだりして説明することで、こどもたちの興味・関心を高め、理解を深めるようにすること。タブレット端末で、デジタル教材やインターネットを用いた情報収集を行うこと。習熟の程度に応じて自分のペースでドリル等の学習をすること。協働学習としてタブレット端末や大型モニターを使って、グループや学級全体での発表や話し合いを行うこと。写真や動画を使った発表スライドを作るときなどに、グループで編集作業を進めたり、学級全体に考えや情報を共有したりする活動をするなどです。

そのようなICT教育を進めていく中で、疑問も出てきました。今、目の前に友達がいるのに、直接話さずに画面に入力した文字で会話することの方が大切なのか。タブレット端末を使うことで思考は本当に深まっているのか。そこで、今年度は「ICTを効果的に活用する」ことにし、大切にしたいことを「T・S・S」、Think（考えや思いをもつ、表す）、Share（共有して深める）、Select（自分にとって最適なものを選択する）と整理しました。そしてデジタルとアナログを意図的に使い分けることとしました。「目の前の人はどう感じているか」、「こう言ったら相手はどう受け取るのか」、「自分の思いを理解してもらうにはどう言えばいいのか」と考えられるこどもたちを育てることを目指します。相手を思いやりながら接していく対話の大切さ、話し合いながら考えを練り上げる関わり合いの面白さ、本物に触れる、体験なども引き続き大事にしていきたいと思います。

そして昨年度の後半から始めたNIE（新聞活用）。新聞の強みは、事件・事故、政治、経済から文化、スポーツまであらゆる分野の情報が網羅され、その一つ一つの記事が複数の目による厳しいチェックを経て世に出ている、信頼性の高いメディアであることです。「生きた教材」である新聞を通じて大人もこどもも多くの発見ができます。2週間に1度、無理のないペースで新聞とふれ合い、まずは、新聞に親しむ、楽しむことから進めます。発達段階に応じて活動内容を工夫し、低学年では、小学生新聞から写真を選んだり、見出しや記事の中からひらがなやカタカナ、習った漢字を探したりして、新聞と「仲良くなる」活動を中心とします。中・高学年では一般紙から選び、選んだ理由、感想などを書くようにしていきます。デジタルとアナログ、それぞれのよさを生かし、自分の目標・自分のやり方・自分の考え・頑張った達成感や成就感、そして自己肯定感の醸成等を目指した教育活動を行ってまいります。

SNSトラブルが起っています

こどものSNS機器におけるトラブルの報告が続いています。ネット利用が当たり前の時代に、こどもたちの安全をどう守るかということは大きな社会問題です。学校では高学年セーフティ教室等、様々な機会に情報モラルやネットで提供されるサービス（SNSやゲームなど）との付き合い方の授業を行っています。しかし、こどもたちのSNS上でのトラブルはなかなか収まりません。

○LINEでのグループトラブル ○オンラインゲームのチャットやメッセージのやりとりで、相手を嫌な気持ちにさせる言葉や誹謗中傷の言葉を使う ○LINEやオンラインゲームでメンバーから外す等

ほとんどの家庭で、こどもに「ネットで悪口など書き込みに気を付けなさいよ。」「夜遅くまで使わないでね。」と言いつけていることと思います。しかし、こどもたちは自分が行っていることを客観的に見られないのです。また、それぞれのアプリには年齢制限があり、小学生が使えないものもあります。個人所有の情報機器の使用に関しては、基本にご家庭それぞれが責任をもって管理していただくこととなります。家庭ルールの確認、使用状況や内容を定期的に見ていただく等のご協力をお願いいたします。学校を通して貸し出しているタブレット端末の使用に関しては、引き続き学校で指導していきます。何かありましたら担任までご相談ください。

6月の行事予定

※各学年の数字は授業時間数を、BはB時程を示しています。

日	曜	内容	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	日							
2	月	振替休業日						
3	火		5	5	5	6	6	6
4	水	体カテスト始 3・4年(1・2時間目) 5・6年(3・4時間目) 干潟体験事前授業(3年)	4	5	5	5	5	5
5	木	B時程 体カテスト 2・5年(1・2時間目) 1・6年(3・4時間目)	B5	B5	B5	B6	B6	B6
6	金	B時程 体カテスト終 翼の会(1.2.4.6年) 干潟体験(3年) クラブ活動②	B5	B5	B5	B5	B5	B5
7	土	羽田中学校 体育祭						
8	日							
9	月	安全指導 プール時程始 WEBQU実施週間(～13日まで) とうぶ移動教室保護者説明会(6年) 14:30	5	5	5	5	5	5
10	火	社会科見学(4年) 干潟体験予備日(3年) ◆スクールカウンセラー全員面接(5年)始	5	5	5	6	6	6
11	水	午前授業 小中一貫教育(羽中授業参観)	4	4	4	4	4	4
12	木	町探検(2年) 児童集会(図書委員会)	5	5	5	6	6	6
13	金	B時程 全校朝会 委員会活動②	B5	B5	B5	B5	B5	B5
14	土							
15	日							
16	月	避難訓練(方面別下校)	5	5	5	5	5	5
17	火		5	5	5	6	6	6
18	水	こころの劇場(6年)午後	4	5	5	5	5	5
19	木		5	5	5	6	6	6
20	金	翼の会(3.5.6年) 児童集会(集会委員会) ☆4～6年6時間授業	5	5	5	6	6	6
21	土							
22	日							
23	月	社会科見学(3年)	5	5	6	5	5	5
24	火		5	5	5	6	6	6
25	水	午前授業	4	4	4	4	4	4
26	木	午前授業 校内研究授業【人権尊重教育】(5年2組のみ5時間授業)	4	4	4	4	4	4
27	金	B時程 全校朝会 クラブ活動③	B5	B5	B5	B5	B5	B5
28	土							
29	日							
30	月	午前授業 ◆定期健康診断終 校内研究授業【ICT教育】(4年1組のみ5時間授業)	4	4	4	4	4	4

こどもの心サポート月間について

6月は「こどもの心サポート月間」です。大田区ではその取組として、学校生活調査を実施し、こどもの心のケアを行っています。それに伴い、こども向けにいじめアンケート、学級集団調査(WebQU)を実施します。結果を基に、カウンセラーと連携を図り、個に応じた細やかな対応をしていきます。

アンケート実施期間:6月9日(月)～13日(金)

水泳指導について

令和7年度の水泳指導が始まります。ご家庭でも水着や水泳帽などの確認をお願いいたします。詳細は、別紙お知らせをご覧ください。

期間:6月9日(月)～7月17日(木)

指導日:低学年(火・木)

中学年(火・金)

高学年(水・金)

